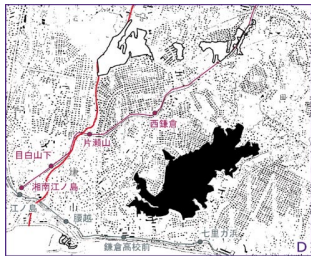


## 広町

- A 常緑広葉樹自然林
- C 溪谷生落葉樹自然林
- E 常緑・落葉広葉樹混生二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木-ツル植物
- J1 乾性草地
- J2 畑耕作地
- K 湿性草地
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- L4 緑化地
- M 人工地

- 池
- 湧水
- 湿地 (12月時点の拡がり)
- 水路
- 水路 (一部コンクリート護岸)

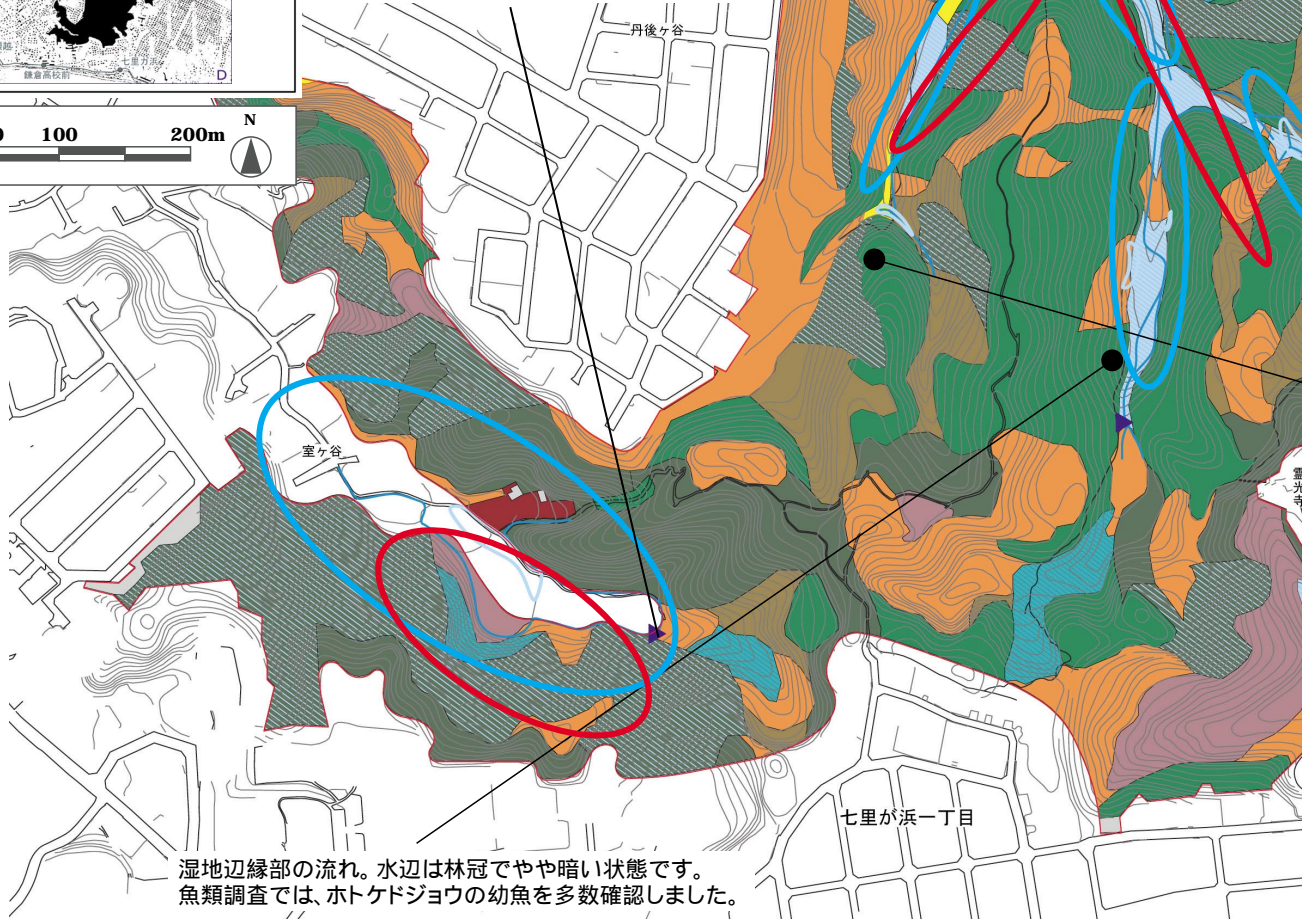


**アシカキ群落(左)とヒメガマ・コガマ群落(右)**  
 水田の跡地に生育したガマ類やセリ、アシカキなどが繁茂する湿原です。タコノアシなどは鎌倉市ではめずらしくなってしまう植物なので貴重です。しかし放置すると、セイタカアワダチソウに被われて負けてしまいます。

## 広町

ヘイケボタルとゲンジボタルの分布  
 ヘイケが青     
 ゲンジが赤    で示しました。

湧水地点  
 全調査(3時期)とも水が湧いています。



湿地辺縁部の流れ。水辺は林冠でやや暗い状態です。  
 魚類調査では、ホトケドジョウの幼魚を多数確認しました。





22地区で湧水量が一番多かった湧水地点です。この2つの湧水地点は、全調査(3時期)とも水が湧いています。この長い上流部には、汚水が流入していますが、水量が豊富なため、流下するにつれ希釈分解されていました。(下流の方が、水質は良好です。)



**イロハモミジ-ケヤキ群集**  
谷の急斜面に生育しているケヤキ林で、高さは20m以上あります。自然林の状態がよく保たれていて、大きなケヤキやイロハモミジ、林床に茂ったアオキ、シダなどが目をひきます。



**ミズキ群落 イノデ下位群落**  
湿った谷底にできたミズキ二次林です。ヤブミヨウガ、イワガネソウ、イノデ類など50種を超える植物が生育していて、将来はタブノキ林になると推察されます。



**サクラ植林地**  
尾根に生育しているヤマザクラ林です。薪や炭をとるために植えられました。林床にはアオキ、ヒサカキ、アズマネザサなどが茂っています。神奈川県南部では日当たりの良い尾根にサクラを植えた場所がよくみられます。

**広町**

調査確認種数

植物：101科404種

動物

- 哺乳類：ノウサギ、カヤネズミ、タヌキ他 6科7種
- 鳥類：オオタカ、ノスリ、フクロウ他 21科38種
- 爬虫類：カナヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシ 2科3種
- 両生類：4科5種
- 昆虫類：122科462種
- 魚類：ホトケドジョウ、シマヨシノボリ 2科2種
- 底生動物：29科38種

特記事項

広町は、22地区で一番広い緑地で、緑地内に複数の谷戸が存在し、多様な水辺環境が形成されていました。そのため、多くの種が確認されました。しかし、一部の谷戸では乾燥化が進行しており、その対策が急がれます。

広町は鎌倉市西部地域を代表する緑地の中心として保全していくことが重要です。





カヤネズミの巣



シマヨシノボリ



タイワンリスの食痕  
樹皮がはがされた木は衰弱・枯死して  
しまいます。



ショウジョウトンボ

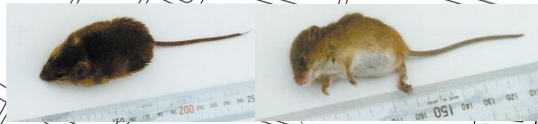


オオカマキリ

広町



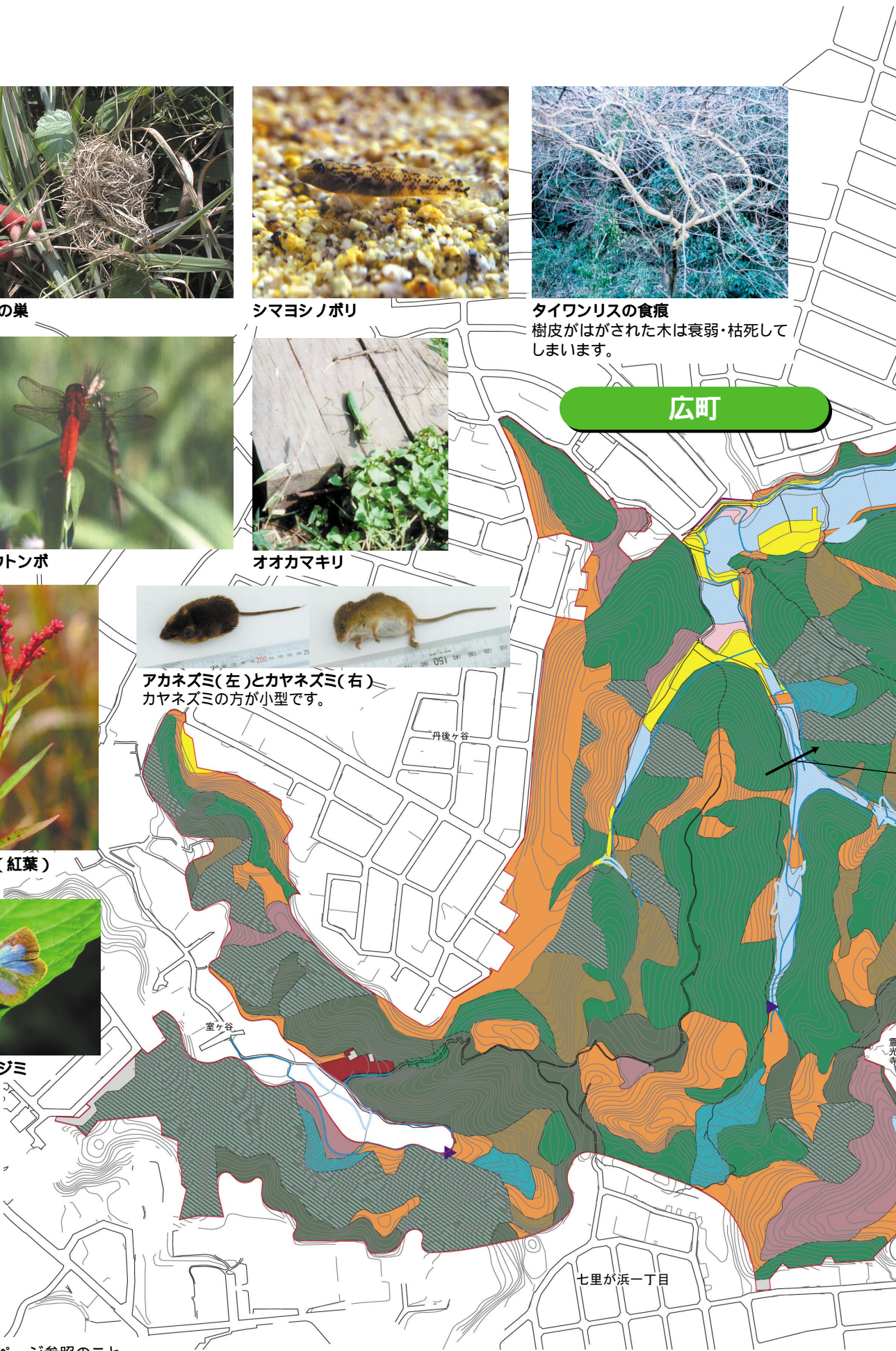
タコノアシ(紅葉)



アカネズミ(左)とカヤネズミ(右)  
カヤネズミの方が小型です。



ムラサキシジミ



凡例は前ページ参照のこと



西鎌倉山  
南公園



サトキマダラヒカゲ

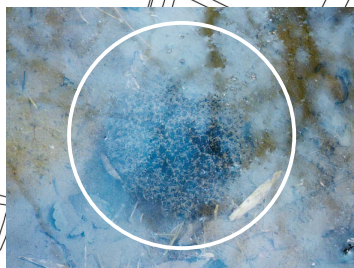


アマガエル



ヒガシカワトンボ

オオタカの飛翔確認



ニホンアカガエルの卵



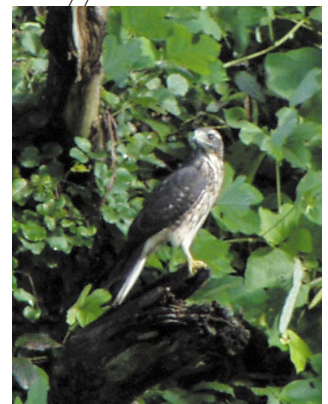
ニホンヒキガエルの卵



ホトケドジョウ



ゴイシジミ



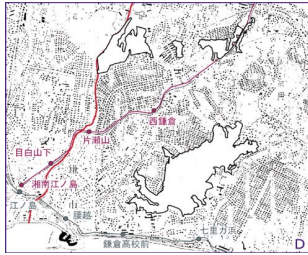
オオタカの垂成鳥

市立  
七里ヶ浜  
小学校



## 小動岬

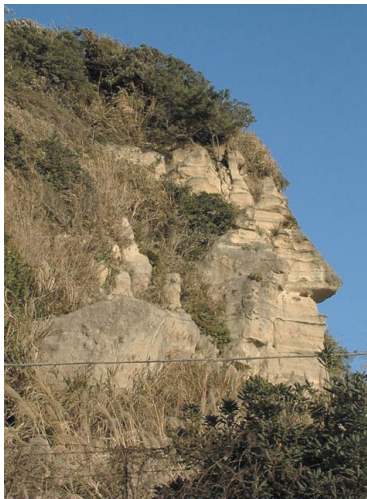
- B 海岸生低木自然林
- F 常緑広葉樹二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- H 海岸段崖地草原
- L4 緑化地



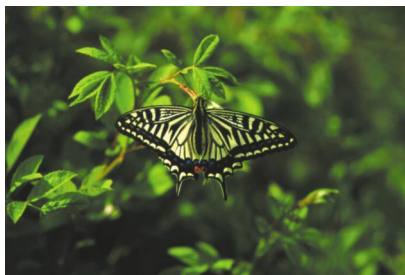
**イタチ(在来種)の糞**  
イタチは、22地区中小動岬のみで、その痕跡が確認されました。



**アライグマ(外来種)**



**小動岬の断崖**



**ナミアゲハ**



**アオバト**



**ヤマトシジミ**



**イソギク・ハチジョウススキ群集**  
潮風や波をかぶる崖にはえる自然の草原です。強風や潮に強いイソギクのような植物が集まっています。貴重です。





**マサキ-トベラ群集**

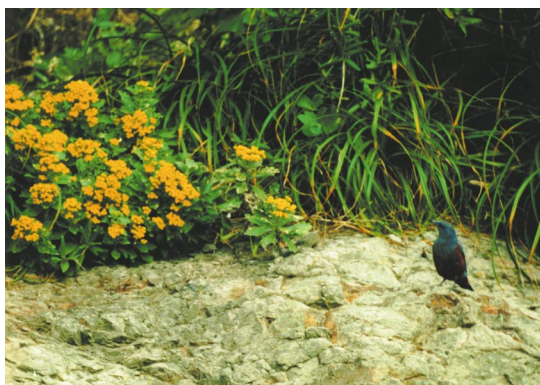
ハチジョウススキ草原の陸側に生育する自然の低木林です。強風と潮のため木は大きくなれず、トベラなどの海岸特有の木が身を寄せ合ってはえ、貴重です。



**ジョウビタキ**



**ウミネコ**



**イソヒヨドリとイソギクの花**

**小動岬**

**調査確認種数**

植物：35科62種

**動物**

哺乳類：イタチ他 2科2種

鳥類：15科20種

昆虫類：35科74種

**特記事項**

小動岬は22地区中唯一、海からの風を直接受ける地区で、海岸地区特有のイソギク・ハチジョウススキ群集やマサキ-トベラ群集が生育していました。他では生育しない海岸植物も、多く確認されました。

また、ユリカモメ、ウミネコなど、海岸に特有のカモメ類も確認されました。市民からは、アオバトが時々休憩しているとの情報が得られました。